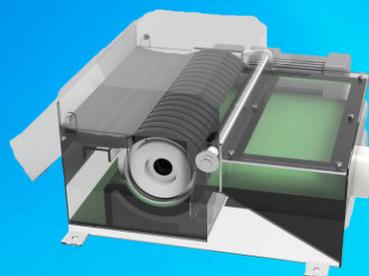


くし型マグネットセパレータ

マグネットロールを凹凸形状に
することでスラッジ吸着面積を拡大



内部イメージ



くし型稼働動画

- ◇スラッジ吸着効率をより高めクーラント液の清浄度を向上させます。
- ◇スラッジ排出を向上する事で製品不良率の低下とタンク清掃頻度を減少させます。

サンエス工業株式会社

Copyright© SAN-S INDUSTRY All rights reserved

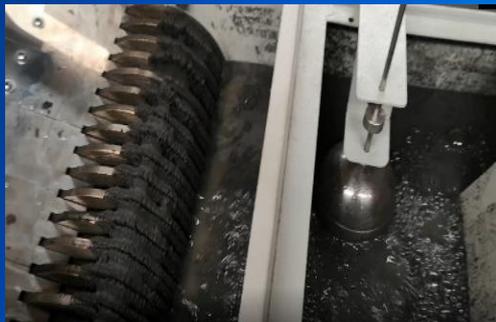
Purification system

特徴 Merit

- ◇ マグネットロールを凹凸形状にすることでスラッジ吸着面積を拡大(標準型比約1.6倍)
- ◇ 凹凸形状のマグネットロールにより凹部に磁性スラッジが吸着し
- ◇ そこへ砥粒が巻き込み磁性スラッジと共に排出が可能。
- ◇ 液面計管理により凹部の吸着限界を検知しマグネットロールを回転させ機外へ排出します。



マグネットロールは円筒状ではなく、くし型のマグネットロールを採用。タンク内の液面を検知するため液面計を搭載しております。



マグネットロールは回転せずくし形の溝部でスラッジを捕捉します。溝部にスラッジが溜まり流路を狭めタンク部の液面上昇します。



タンク内の液面が設定値に達すると、くし形のマグネットロールが回転し、吸着したスラッジを排出します。排出の際、マグネットロールは一定回転し下部(液中)は新しいマグネットの面となりスラッジの吸着を開始します。



一度排出されたスラッジはカキ板上部に滞留し水切りを行います。後ろから新しく排出されたスラッジによって押し出され、スラッジBOXへ回収します。上記を繰り返しくーラント液に混入しているスラッジを効率よく回収します。

機器仕様 Specification

型式	QY- 25C	QY- 50C	QY- 100C	QY- 200C	QY- 300C	QY- 500C	QY- 800C	QY- 1000C	QY- 1200C
処理能力	25L/min	50L/min	100L/min	200L/min	300L/min	500L/min	800L/min	1000L/min	1200L/min